

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	きりはーと神立		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 3月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	44	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	発達心理学を基にした体育(運動療育)を中心に身体能力の向上と社会適応を目指した療育を行っていること。	広い運動スペースを確保できている事業所の長所を活かして、よりダイナミックな動き・運動ができるサーキットを展開できている。自転車に乗れるようになってほしいなどの保護者のニーズに答え、個別で練習したりと細かなニーズに対応できている。	より難しい運動にチャレンジできるようにレベルに応じて活動内容に変化をつけること。子どもたちがお手本を見せる機会を増やすことで、やる気につなげていきたい。
2	将来に向けての自立や社会性の向上、高学年に対しては作業班を通して働くために必要な技術を増やす活動をしている。	月一回の食育では、自分で作ったものを自分で食べることで食への興味関心を高めている。作業班では外注作業やボールペンの組み立て等の作業を取り入れることで、就労に向けて必要な集中力やルールなどの社会性を伸ばす活動を取り入れ、対象学年ではない子もより強みを伸ばしていく観点で作業学習に取り組んだり柔軟性のある対応をしている。	可能な範囲での買い物学習や関連企業への校外学習などより自立に向けた活動を取り入れていきたい。
3	夏祭りイベントや体操イベント、保護者の集いなど子ども同士や保護者同士の交流を図れる時間を設けている。	保護者の悩みを聞き取り、同じような気持ちを感じている保護者を集めて相談会や情報交換ができる機会を設けている。	定期的集まれる環境を整え、色々な悩みを持っている保護者同士の交流をさらに設けていきたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	運動が苦手な子も少しずつ集団の活動に参加できるようになってきたが、その日の気分によっては見学したりと集団に入ることが難しいこともある。	その子の気持ちに寄り添った対応しており、自由時間などで密な関わりをしているので、楽しい気持ちでプログラムに入れるようにしていきたい。	お手本を見せてもらう時間を設けたり、子どもたちが好きな遊び(中当てやボール遊び)を準備体操に取り入れることでモチベーションを高めて運動療育に取り組めるようにしている。
2	プログラムが明確になっている分、小学校の高学年になると学校で時間割通りに過ごし、その後の事業所でも時間割に沿って行動することからモチベーションの低下、顕著に疲れがみられる子もいる。	学校の疲れで体操療育に前向きに取り組めない子もいる。楽しみを見いだせない子もいる。	子どもが前向きに楽しく過ごせるように自由遊びから一人一人の子としっかりと関わる時間を設けて、楽しい気持ちを維持しながらプログラムに入れるようにより一層コミュニケーションを密にとる。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 きらりはーと神立

公表日 2026年3月5日

利用児童数 2026年3月5日

回収数 20

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	18			2		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20					
11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9	6		5			
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19		1			
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17	1	1	1		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	20					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20					
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	15			5			

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20				
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20			送迎の際に活動内容や様子を詳しく教えてください くださり満足しています	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	20				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19			1	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19			1	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19			1	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19			1	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19			1	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	20				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	18	2		子ども通所を楽しみにしており、思 いっきり運動もできて満足している	
	29	事業所の支援に満足していますか。	20			色々な運動に取り組みせてもらっている ので、学校の面談でも運動がよくでき ると褒めてもらいました	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		きらりはーと神立				公表日	2026年3月5日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	運動スペースは確保できている		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	5~6人体制で行っているが、子どもの状況や緊急時において足りないと感じることがある		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	トイレの前に階段があるが概ね問題は感じない		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	なっている		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	クールダウンする部屋は自由に入出りできるようになっている		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	日々のミーティング支援の見直しを日々している		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	保護者希望にそえるよう利用日の変更や増加などできる範囲で行っている		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	ホームページに記載		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4	相談支援事業所との連携、モニタリング		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	社内外問わず研修に参加		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	公表されている		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	面談や職員とのミーティングのもと作成している		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	すべての職員の意見を反映させるようにしている		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	行われている		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	遠城寺式や独自の運動評価表を使用しグラフにすることで見やすくしている		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	療育の担当者がそれぞれ話し合い決めているが、繋がりのある支援ができるよう全体で話し合っている		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	集団の活動と個別の活動を行うことで保護者のニーズに合わせた療育をしている
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	保護者のニーズを聞いてその子に必要な支援を個別～少人数で取り組める月を設ける
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	個別の対応が必要な児童について日々確認しながら担当を決めている
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	必ず終礼をして振り返りを行い、申し送りの漏れがないように業務日誌にも記載
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	日誌、個別の活動日誌、連絡ノートに記録を取っている
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	3ヶ月に1回行っている
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	活動を通して多様性を感じられるように支援を行っている
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	担当者会議には児発管が必ず参画している
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	相談支援事業所とは定期的なモニタリングや電話での情報共有をしている
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	保護者を通して情報の共有をしている。対応が難しい児童については学校の様子を聞き取りしている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	3	相談支援事業所とは定期的なモニタリングや電話での情報共有をしている
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	4	今のところ就労へ移行している利用者がいない
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	0	月一回の職員面談を行っている
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5	公園などの課外学習の際に交流する機会を作っている
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	1	可能な範囲で参加している
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	連絡ノートや送迎時に情報を共有している
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	送迎の際に相談があれば研修で得た知識を伝えたり、保護者会にて相談ができる機会を設けている
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	必ず行っている
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	こどもの移行も反映できるように努めている
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	同意を得ている

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	年に2回の面談を実施している	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	6	0	月一回の保護者会を開催しており、保護者同士のコミュニケーションを図れる場を作っている	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	できる限り対応する	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	毎月のおたよりの配布や週に一度Facebook更新をしている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	鍵付き倉庫で保管	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	わかりやすく・的確に注意している	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	0	事業所の行事は利用者のみで行っている	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	注意喚起の書面は配布しているが、想定訓練まではしていない	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	消防に協力してもらい年に数回実施している	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	契約時に保護者に確認し、対応のマニュアルを作成している	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	お皿の色を変えている。職員で共有できるようチェック表を作成	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	周知している	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	記録に残し対応している	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	社内外問わず研修に参加	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	説明はしているが、対象児童がない為記載はしていない		